

# ダウン症のある子どもの血液検査異常について

ダウン症のある子どもたちの血液に関する問題はまれです。しかし、これらの状態を理解することは重要です。子どもの血液を検査する理由と方法についてもっと学びましょう。

## TAM とは何ですか？

一過性骨髄増殖性障害（TAM）は、血球が正常に作られないときに起こります。

- ダウン症のある子どもの約 10 人に 1 人の割合で見られます。
- TAM では、白血球の未熟な形態（白血病様芽球）が増加します。また、正常な細胞が減少し、貧血になることがあります。
- ほとんどの子どもでは、生後 3 カ月までに自然に治ります。しかし、中には後に白血病を発症するお子さんもいます。
- もし、あなたのお子さんが TAM である、または TAM であった場合、小児血液専門医による定期的な検査が必要です。

## TAM にならなくても白血病になる可能性はあるのでしょうか？

- はい。ダウン症のある子どもは、他の子どもより白血病になりやすいと言われています。
- しかし、一般的に白血病はまれです。ダウン症のある子どもの 1% だけが、白血病を発症します。
- TAM は、急性骨髄芽球性白血病と呼ばれる特定の種類の白血病のリスクを増加させます。しかし、ダウン症のある子どもは、すべての種類の急性白血病を発症するリスクが高まります。

## なぜ急性白血病になりやすいのですか？

白血病は、未熟な白血球が多すぎるにおきる病気ですがん的一种です。時々、体内で生成される各種細胞の数を制御するメカニズムがうまく働かないことがあります。これは、一つまたは複数の遺伝子が遺伝暗号を変化させたときに起こります。これらの遺伝子は 白血病の患者さんの 21 番染色体上に見つかることがよくあります。ダウン症のある人は 21 番染色体が 1 本多いので、白血病を引き起こす変異した遺伝子を持つ可能性が高くなります。

## どのような症状がきっかけで白血病がわかりますか？

以下のような症状がある場合は、かかりつけの医師に相談してください。

- 極度の疲労感
- 足の痛み
- 食習慣の大きな変化
- 足を引きずる
- 息切れ
- あざがでやすい
- 紫斑
- 歯ぐきの出血